

にいがた



人口	486,868人	(+65)
男	236,479人	(-3)
女	250,389人	(+68)
世帯数	181,378	(+157)

住民基本台帳による。()は前月比

発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 編集 総務部広報課 印刷 函第一印刷所



広報誌「にいがた」完成
特集「子育て応援情報」
 市政の身近な話題を特集した「にいがた」が完成し、希望する人に差し上げています。

今回の「にいがた」は「子育て応援情報」を特集し、子育て中の親に役立つ情報が満載です。遊ぶ・相談する・預ける・学ぶ・交流する、の五項目に分け、育児相談や子育てセミナー、親子で自由に遊べる施設、子育てサークルなどを紹介しています。

配布場所 市役所案内、地区事務所、連絡所、公民館、図書館、市民プラザ、万代市民会館、西保健康所、ほか
 問い合わせ 広報課(市内線2143番)へ

全国のニュービジネスを紹介
新潟ニュービジネスメッセ'97

11月7・8日
 このメッセは、平成5年から開催してきた「新潟メッセ」を模倣替えし、急速な時代の変化に対応して全国に起こりつつあるニュービジネス関連の見本市として行われる。

参加企業は、青森から福岡まで二十八都府県から百五十五社におよび、百七十五のブースで出展します。

会場は、ニューアイテム、店舗運営、健康関連事業、新技術関連事業、ニューサービス、教育関連事業、環境関連事業、食品関連事業、マルチメディアの各ゾーンに分けられ、各種相談コーナーも設けています。

新しい事業分野との出会い、事業の拡大、独立立派、さまざまなビジネスチャンスが詰まっている今年のニュービジネスメッセ。今後の企業動向を知る上でも、会場は、ニューアイテム、店舗運営、健康関連事業、新技術関連事業、ニューサービス、教育関連事業、環境関連事業、食品関連事業、マルチメディアの各ゾーンに分けられ、各種相談コーナーも設けています。

10月26日

農林水産業祭

おいしい地場物をどうぞ
 市内で生産された野菜や果物、米と、新潟湖で取れた水産物をより多くの人に知ってもらい、本市の農林水産業について理解を深めてもらうため、農林水産業祭を十月二十六日に開催します。

今年のテーマは「おいしい地場もの、健康家族」。つりも同時に開催。県内

新潟の企業との連携を求める企業や、新潟でさらに成長を続ける企業、ビジネスパートナーを求める企業など、新潟はもとより、二十八都府県からニュービジネス関連の企業百五十五社が出展する。「新潟ニュービジネスメッセ'97」が十一月七・八日の両日、市産業振興センターで開催されます。

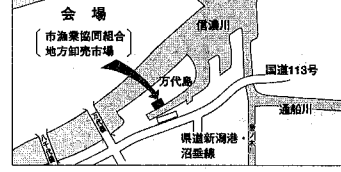
参考になる見本市です。
 日時 十一月七・八日午前
 会場 市産業振興センター
 問い合わせ 商工振興課(市内線2524番)へ
 ※午前九時半～午後四時半まで毎時三分に、新潟駅南口から無料直行シャトルバスが運行されます。

ニュービジネスセミナー

日時	講師	演題
11月7日 13:00~14:10	佐々木 かきり (株)ユニカルインターナショナル 代表取締役社長 「起業家へのステップ、成長への秘訣～ギョムギョムの発展～」	
11月8日 12:00~13:30	藤村 西蔵 (株)ギャガ・コミュニケーションズ 代表取締役社長 「リスタを味方にする経営～ギャガの魚成長経営戦略～」	
11月8日 15:00~16:10	濱 泰樹 (インディゴ) 代表取締役社長 「学生企業家のチャンスと条件～勇気と情熱が生まれた瞬間～」	

三人を講師に迎え、体験をもとにした起業、発展のノウハウや成長の秘訣、成功の条件などを語ってもらいます。

'97にいがた広域工芸品まつり
 日時 きょう十九日午前九時～午後六時
 会場 新潟ふるさと村



産の魚と水産加工品の即売、ミニ水族館、パネル展示などがあります。
 ※家族おそろいでこ来場ください。
 日時 十月二十六日午前九時～午後二時
 会場 市漁業協同組合地方卸売市場
 卸売市場(万代島) 問い合わせ 農林課(市内線2143番)へ

「行政評価委員会」は、市への苦情に対する処理で不満が残る事柄について、市民に代わって調査する機関です。

苦情の申し立てを受けることはできません。申し立てできる人は、市民に限らず、市政に対しての利害にかかわる苦情を持つ人で、未成年、外国人、法人などの団体も含まれます。

詳しい内容を紹介したパンフレットと苦情申し立て専用封筒が市役所本館・分館案内、地区事務所、連絡所、公民館などにあります。問い合わせ 行政評価委員会(2226・3550)へ

行政評価委員会
 あなたに代わって調査します

「行政評価委員会」は、市への苦情に対する処理で不満が残る事柄について、市民に代わって調査する機関です。苦情の申し立てを受けることはできません。申し立てできる人は、市民に限らず、市政に対しての利害にかかわる苦情を持つ人で、未成年、外国人、法人などの団体も含まれます。

詳しい内容を紹介したパンフレットと苦情申し立て専用封筒が市役所本館・分館案内、地区事務所、連絡所、公民館などにあります。問い合わせ 行政評価委員会(2226・3550)へ

一筋の道 106
 義肢製作 荒木進さん(61歳、南紫竹2)

「足や手を失った人が義足や義手を装着することで、生活への希望を膨らませているのが、何よりもうれしい」と話す荒木さんは、義肢を作る職人です。父親の入院時に、偶然知り合った人の勧めでこの道に入ったのは十五歳のとき。製作技術を教えられる親方がいなかったため、納品せざるを得ない。その人の未来を考えたならば、来ないから」と熱く語りま

夢や希望への手助け

義足や義手などの義肢を作り始めて46年。昭和37年に出身地の北海道から本市へ。障害者の日常生活や社会生活の向上のために、さまざまな義肢を作り続ける。

必要なのを、医師や理学療法士と徹底的に話し合うことが必要。「その人の未来を考えたならば、来ないから」と熱く語りま

荒木さんのスケジュール表は、県内の整形外科を回る予定でびっしり。また、利用者の声に応じても対応できるようにと、職場に寝泊りする毎日です。

「装着する人の、夢や希望をかなえるのが私の使命だから」と荒木さん。「二人の息子が継いでくれたのも、もし私が何かにあっても、今まで作った義肢のケアを任せられるので安心です」と顔をほころばせます。

マリシア日本海 市民家族割引券

この券でご来館の家族全員の入館料を2割引といたします

大人 1,500円→1,200円
 小人(小中学生) 600円→480円
 幼児(4・5歳) 200円→160円

有効期間 平成9年10月19日～平成10年3月31日

新潟市

市役所 ☎228-1000(代表)

聴覚センター 286-1034
 水道局 266-9311
 市民病院 241-5151
 東保健所 243-5311
 山田地区保健センター 286-4450
 南地区保健福祉センター 285-2373
 北地区保健センター 259-7332
 西保健所 266-5171
 西地区保健センター 262-3405
 坂井地区保健センター 260-3255
 急患診療(市医師会・県医師会) 228-2822
 休日歯科診療センター 283-3030

市ホームページのアドレス: <http://www.mediagalaxy.co.jp/niigatacity>